

調達管理番号・案件名				
25a00710_全世界(広域)気候変動対策及び生物多様性保全の主流化支援業務(2025~2027年度)(QCBS-ランプサム型)				

質問と回答は以下のとおりです。

2026年1月23日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	3	第1章 3.(1)各種資格の確認	日本登記法人が共同企業体の代表者の場合、海外法人と共に共同企業体を結成することに問題ないという理解で宜しいでしょうか。	ご理解の通りです。
2	10	第2章 第4条(1)国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2022年1月版)等に基づくGHG総排出量推計結果のレビュー	レビュー件数の目安はありますでしょうか。	年間0~5件程度になると見込まれます。
3	10	第2章 第3条(2)発注者との定期的ミーティングの開催	「発注者と定期的なミーティングを開催」とありますが、ミーティングの頻度および時間の目安(例:毎週1時間程度など)はありますか。	2週間に1回、1時間程度を想定しています。
4	10	第2章 第4条 (2)気候変動対策支援ツール(JICA Climate-FIT) 等を用いた案件毎の検討結果のレビュー (5)生物多様性主流化支援ツール(JICA Biodiversity-FIT)等を用いた案件毎の検討結果の レビュー/JICA Biodiversity-FIT 改訂	緩和・適応、および生物多様性における案件毎の検討結果のレビューにおいて、案件毎に収集されたデータや情報、リンクなども共有されるという理解でよいでしょうか。	ご理解の通りです。
5	12	第2章 第4条(2)3) 現地渡航調査同行	コンサルタント1名が1件あたり5人日での想定であり、1件あたり2名の同行は想定されていないという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
6	16	第2章 第4条(6)生物多様性分析に係る相談/質問事項への対応	質問対応の工数は、(4)と同じく1件当たり0.5時間程度と考えてもよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
7	17	第2章 第4条(8)気候変動対策・生物多様性主流化案件担当者向け勉強会の開催	「勉強会は緩和策、適応策、生物多様性、それらに関連するファイナンス・情報開示に関連して各回1時間半程度で実施し、各テーマについて日本語、英語で開催する(開催回数は計5回)。」と仕様にございます。 これは、各回1時間半程度・計5回の時間内で、各トピックについて日本語及び英語で開催する(各トピック及び言語への時間配分は協議の上で決定する)、と理解してよろしいでしょうか。	各回は日本語もしくは英語となる想定です。日本語開催と英語開催の配分は、協議の上、決定いたします。

以上